



Nepal Blind Support Association

ネパールの視覚障害者を支える会(NBSA)会報

第 27 号 2010 年 7 月

NBSA : <http://NBSA.sakura.ne.jp/>

主内容：ワールドカップとクリケット/4月～6月の活動報告/2009年度総会報告/ネパールの民話
NBSA カトマンドゥ事務所からのお知らせ/事務局便り/総会報告2（決算/予算案）

ネパール人の 99% が日本チームのサポーター：

ウワー、ついに終わってしまいましたね。

地球規模でウォッチングされた全世界玉けり大会ことワールドカップ。ネパールでもすごい盛り上がり様でした。決勝戦が近づくとつれ視聴者はうなぎのぼり。カトマンドゥでの視聴率は70%、地方では30%と言われています。サッカーはネパールでまだ新しいゲーム。と言うことはルールもわからない

お年よりもこぞって見てたんだ！準決勝と決勝戦はカトマンドゥ市内6箇所に巨大スクリーンを張り生中継。決勝はネパール時間の午前1時スタートでしたが大いに盛り上がった様子。この2日間は政府の粋な計らいでゲームの時間帯は計画停電がありませんでした。

がんばれ日本！ネパール人の99%が日本チームのサポーター：

全ゲーム中一番熱い応援を受けたのが日本チーム。特にPK戦に破れたときは、涙した人もいたそう。日本びいきその理由は？と聞くと、日本はネパールで最大の援助国、日本人は我々と同じアジア人。さらに行儀が良くて親切だからとのこと。ホンマかいな（笑）



さて、ネパール人がもっと好きなスポーツはクリケットです。ルールは野球とほぼ同じ。平べったく重そうなバットを使います。発祥国はイギリス。元植民地や英領だった国々ではすごくポピュラー。ネパールへはインド経由で入ってきたスポーツです。数年前からネパールの視覚障がい者の間でもプレイする人が増えてきました。ボールに垂鉛玉や鈴を入れてプレイするのが特徴です。クリケットは始めカトマンドゥ盆地に住む盲学生の間ではやりましたが、今ではポカラにも普及し、女性も頑張ってチームを設立。近年中に起伏の少ないタライ地方でもチームが結成される予定です。NBSAでは特に支援をしていませんが、有志やボランティアを派遣して視覚障がい者のスポーツ参加を促しています。

ネパール現地活動報告 2010 年 4 月～ 6 月：

4 月の活動報告

定例のカセットテープ・ライブラリー事業と点字情報誌タッチ 21 号の編集。内容は 2 月に行った隔月誌タッチ創刊 20 号のイベントの他、地方の障がい者のイベントなど。

カセットテープ・ライブラリーは、朗読者が急激に減ってしまい、現在ボランティアがひとりしかいません。本当に困った状況に置かれ、今度大学などを中心にボランティア大募集キャンペーンを行いたいと思っています。

5 月と 6 月の活動報告

5 月、6 月は正直言って休館状態が続きました。5 月のメーデーを境に 1 週間近いカトマンドゥ盆地内のゼネスト。最大で 50 万人がストに参加し、外出もままならず事務所も閉鎖しました。その後は猛暑と雨季。この季節は NBSA の訪問者が一番少ない時です。

こんなときには静かに仕事に専念したいところですが、NBSA はなにぶん電気を使う仕事が多く苦勞が耐えません。ネパール全土が断水に見舞われるときで、水力発電しかないネパールでは、どこも計画的に一日の半分以上が停電されます。毎回会報やネットニュースで停電を嘆いていますが、6 月はずいぶん 18 時間になり昼間はたいてい 2 時間しか電気が来ません。当事務所はパソコンなしでは仕事にならない。私が日本に一時帰国していた 2 ヶ月間、ボランティア、スタッフの無断欠勤が多かったようで、ネパールに戻るとユーザーさんからすかさず電話があり、文句タラタラ。当事務所はなにぶんパソコンをたくさん使うので...、と弁解していますが、少しくらいサボってもいいかぁ、という気にもなってきましたよネ！？

ピクニックの御礼 NBSA 現地会長プララダ・タバ

去る 5 月 26 日、念願だったピクニックを行いました。現地の役員、日ごろお世話になっているボランティア総勢 28 人が参加し、カトマンドゥ盆地の西にある観光名所ナガルコットに行きました。当日はバスを貸し切り、フロントに NBSA の横断幕を張り、なかなか派手な光景でした。昼食はちょっと値が張りましたが、おいしい仕出し弁当。参加したのは、顔なじみのメンバーばかりでしたが、事務所の外で会うともっとリラックスでき、歌が誰ともなしに始まりました。このイベントにはカトマンドゥ市内の視覚障がい者団体も招待し、親睦を深めたかったのですが、都合が悪かったのか、どの団体も不参加。しかし、これを契機にスタッフとボランティアがもっと親密になったと思います。このような機会を与えてくださり、現地スタッフ一同感謝しています。

(写真左：ナガルコットの丘で参加者の記念撮影) (写真右：NBSA の横断幕を貼った派手なバス)



2010 年度 NBSA 総会報告

(日本事務局 高梨憲司)

去る 6 月 19 日(土)、会員である青山 茂さんのご協力をいただいて、千葉県柏市の第二青山ビルを会場に、「ネパールの視覚障害者を支える会(NBSA)」の 2010 年度総会と講演会、並びに交流会が開催されました。以下にそのご報告をいたします。

1 総会報告

当日の 11 時～12 時 30 分に、会員数 52 名中 37 名の出席(委任状 30 名を含む)をもって開催しました。議事と決議の内容は次の通りです。

議題 1 .2009 年度活動報告並びに決算報告の承認、および監査報告について 別添の資料の通り満場一致で承認されました。なお、去る 3 月に行われたネット役員会、および会報でお知らせしました会計年度並びに役員の任期に関する会則の改正案については、現行通り 4 月～翌年の 3 月として、会則の改正を行わず、年度終了後から翌年度総会までの期間(4 月～6 月)の予算執行については、暫定的に会長の責任において通常経費のみを執行することとされました。

議題 2 .2010 年度活動計画並びに予算案について
別添の資料の通り満場一致で承認されました。

議題 3 .役員改選について

渥美会長から健康を理由に辞意表明が示されましたが、協議の結果、役員全員が再任されました。

2 講演会報告

13 時 30 分～15 時 30 分に、渥美会長を講師に、「国際協力と NBSA の役割」と題する講演会が行われました。ネパールの歴史や政治情勢、国民の生活の現状、様々な支援団体の活動や NBSA の取り組みなどが熱っぽく紹介されました。参加者は一般市民や青山さんの事業所の職員など 20 名ほどでしたが、参加者一人一人からネパールを旅した時の思い出などが語られ、貴重な 2 時間となりました。きっとネパールを旅したくなった市民もいたことと思われます。

3 交流会報告

講演会終了後、青山さん宅にお邪魔して、スタッフの手作り料理とおいしいワインにほろ酔い気分となり、時間の経つのも忘れ、ネパールの人々の生活や支援のあり方などに話の花を咲かせました。帰宅の途についたのは 20 時を過ぎてのことです。

青山さんとスタッフの皆さんには心から御礼申し上げます。酒も料理も申し分なく、思い出に残る 1 日でした。本当にありがとうございました。

2009 年現地活動報告

定例活動

- 1 .カセットテープ・ライブラリー
27 冊 (作成目標:40 冊)
- 2 .点字マガジン
作成と発送 目標:5 回 合計 300 部 (目標通り)

以下その他の定例活動:

古着の随時回収と発送

NBSA ネットニュース(日本向け)11 回配信

会報誌(日本向け)年 3 回送付

中止した定例活動

白杖の配布：白杖の地方への随時配付を予定していたが、製造会社が製造を中止したため現在白杖の配布がなされていない。

ウォークマンの貸し出し事業は、利用者がウォークマンをあまりに粗雑に扱いすぎるため故障が多発し、現在貸し出しを中止している。

事業の部

1. 親の会指導 視力に障がいのある児童をもつ親への組織強化 3回施行
長年指導を続けていたプロジェクトのひとつだが、昨年3月リーダーの死去により活動を停止していた。秋になってカトマンドゥの会員が再考し、NBSAの指導を元についに正式な会として政府機関（社会福祉協議会）に団体登録を果たした。2月のNBSAセミナーでは、事業の内容について発表がなされた。これらの指導はNBSAが行った。

2. 子供の日クイズ大会

NBSA恒例の事業で09年もカトマンドゥ周辺の4校の対抗戦を行った。

3. 国際障がい者の日記念式典と行政行動

NBSA以外の他団体の参加者も例年より少なく、特にボランティアの減少が目立った。

4. 点字情報誌創刊20号記念、並びにNBSAの事業と親の会の紹介講演会

2009年度を振り返って現地報告

障がい者運動の転換期であったピワコミレニウム宣言からほぼ10年、NBSAを含む多くのネパールの障がい者団体の活動や運動が停滞、もしくは衰退した年であった。それだけ一般の人々による障がい者への関心が高まったのか、福祉が向上したためなのか定かではないが、ネパールの場合、障がい者団体があまりに外国の援助に頼りすぎているため、不況時に寄付金が集まらなるとあっさりつぶれてしまう傾向がある。カトマンドゥのNBSAも同様で、他の団体とは一線を画しているNBSA特有のイベント（生活自立訓練、女子のメーキャップ講座、事業の公開ヒアリング等）にも強い要望が上がらなかった。その一方、地方からのリンクは大変盛んになり、NBSAの活動内容が広く知られるようになった。衣食住、教育や娯楽も地方に比べるとカトマンドゥはかなりレベルが上がっている。今後財政の許す限り、地方に住む視覚障がい者へも援助の手を差し伸べたいと思う。

（現地コーディネーター：渥美 資子）

2009年度日本事務局活動報告

1. 会報発送 年3回、ネットニュース10回、ホームページ更新（上田氏へ依頼）
 2. 会費・寄付金の受け入れ（今年度は省力化および経費節減のため領収書の発行を極力抑えた）
 3. 「アイ・フェスタ IN 千葉」へ参加し寄付を募った
 4. 柏市小規模作業所ポコアポコより現地製品売り上げ受け入れ
- その他、事務局事務

2010年度活動計画案

現地事業計画

定例活動

1. カセットテープ・ライブラリー / 作成目標：小説や学校教材など30冊
2. 点字マガジン / 作成と発送 目標：年間5回

その他の定例活動：

ボランティア養成/古着の随時回収と発送

NBSA ネットニュース日本向けを、2011年5月末までに13回配信
会報誌日本向けを2011年5月末までに4回送付

事業の部（施行日未定）

1. 視力に障がいのある児童の親の会支援と指導
クイズ大会 1～2回（余力があればカトマンドゥ盆地と地方1カ所）
国際障がい者の日記念式典と行政行動
カセットテープ・ライブラリーに関する聴聞会
2. 下記3つのイベントからひとつか2つを選択し2011年5月末までに施行する
ボランティア感謝祭 / ピクニック / 生活自立訓練会

日本事務局計画案

1. 会報発行 年3回 ネットニュース年10回
 2. 会費・寄付金受付・現地送金
 3. 事務局事務
- その他、各種イベントへ参加し、PRおよび寄付要請をする。

2009年度決算報告と2010年度予算案は、紙面の都合上8～9ページ目に掲載しました。

人気者ネパールの民話 「塗られた怠け牛」



ある農夫が2頭の雄牛を飼っていました。雄牛たちは怠け者でのろまでした。どんな牛追い棒も餌のニンジンにも、雄牛たちは鈍感でした。農夫は雄牛たちの使い道がわからず、どう扱ったらいいのか悩んでいました。

ある日、一人の男が2頭の怠け牛をじっと見ていて、農夫に「あなたの牛は役に立ちませんよ、私に引き取らせてください。牛1頭につき20ルピー支払いますよ。そのお金で他の牛をお買いなさい」と言いました。農夫はたいして考えたり、悩むこともなく雄牛を手離しました。

さて、怠け牛を引き取った男は、雄牛たちを1頭ずつ別々のところに放しました。それから男は、1頭の雄牛を赤土で塗り、もう1頭を白土で塗りました。それからもう一度、男は雄牛2頭を一緒にして、雄牛たちが以前一緒にいた仲間とはわからないようにしました。雄牛たちは始め、お互いに不審気に見合っていたましたが、一緒につながれて鋤を引かされるとすぐに働き始めました。

男はまた農夫のところへ戻って「私は働き者の雄牛を2頭持っていますよ。もし、あなたが欲しいなら、雄牛を見に行きましょう。」と言いました。

男は雄牛たちが働いている畑に農夫を連れて行きました。その雄牛たちは、せきたてられもしないのに、前に行ったり後ろに下がったりして、さっさと畑に鋤をかけていました。賢い雄牛たちを見て、農夫は大喜び。自分でも雄牛たちをあやつり、その働きぶりに大満足しました。そして、農夫は1頭につき2000ルピーを支払ってその雄牛たちを買いました。

ところが、二、三日もたたないうちに、雄牛の身体から赤土と白土が剥げ落ちて、農夫はびっくり仰天。悔しさでいっぱいになりました。雄牛たちもお互いの身体を見て、驚きましたが、お互いに昔の仲間だとわかると大いに喜び、そしてすぐに昔の怠けぐせが戻って来ました。農夫の方は詐欺師に大金を支払い、大いに嘆きそして落胆しましたとさ。

最近の日刊紙で多くのネパール人にショックを与えた記事を紹介します

(2010年7月15日付けカンティブル紙より)

ヘッドライン：65%のネパール人が貧しく苦しい生活を送っている

ネパールの貧困層合計約 1,830 万人
日当 94 ルピーで働いている人 1,550 万人
1日 150 ルピーで生計を立てている人 2,180 万人

ネパールの政治家達が国会でポストを巡って熾烈な戦いを繰り広げている中、国連開発計画(UNDP)がネパールの貧困線^注についての調査結果を公表した。UNDPによると、ネパール政府は多数の国や団体から開発援助資金をもらっているが、それらがまったく有効利用されておらず、国民は貧困にあえいでいる。貧困削減を目的に途上国 104ヶ国で行った調査によると、最も厳しい状態に置かれているのがアフリカのソマリアで、次に南アジア諸国々が続く。UNDPはネパールの場合、国家の統治者である政治家に問題があると鋭く批判。ネパールの経済は落ち込む一方、国民の貧困線は上昇し続けている。本来教育、医療や道路建設などに使われるべく国家予算が、実はかなり残っているはずであるが、いつの間にか隠蔽(いんぺい)されており、残額は60%と推定される。またネパール政府の発表によると、国民の所得水準は向上しているというが、所得が上がったのはほんの一握りのカトマンドゥ市民と政治家だけで、国民全体の生活水準は下落を続けている。また教育、医療、電気、飲料水、ゴミ問題など一向に改善された気配がない。そして物価は上昇し続けているので、生活はますます苦しくなる一方だ。国民が貧困にあえいでいる原因は、ひとえに貧困な国家政策と無責任な政治家にある。

以上がカンティブル紙に掲載された国連開発計画の報告書ですが、もう少し具体的に庶民の生活について触れてみます。私自身カトマンドゥに住み、衣食住はまったく困らないものの、水と電気の問題が多く降雨量の一番多いこの時期でも毎日計画停電を強いられています。地方に住む大勢の人々は1日1度白いご飯が食べられないそうで、あまり文句は言えませんがパートで働く都市の工場労働者も、人生設計が立てられない不安定な状況に置かれています。そうした人々が一番初めに節約するのが教育費。「今年は教科書が買えないから学校に行かせない」とあっさり考えてしまうのが子どもではないでしょうか。



注釈：Poverty line 貧乏線 貧困の範囲または境界線を決定するため示す最低の生活水準。それ以下の収入では一家の生活を支えられないと認められる境界線。(貧困線)

国連開発計画(UNDP) United Nations Development Programme www.undp.org.np/

ネパール豆知識：

【首都】カトマンズ 【人口】27.91 (100万人) 【面積】14万7,000k² 【政体】共和制
(民主政権) 【通貨】ネパールルピー 10円/約7.5ルピー(7月現在) 【出生率】3.53%
【幼児死亡率】7.39% 【平均寿命】男60歳 /女58歳 【識字率】55%
【教育】義務教育5年制。教科書と制服は自己負担
(翻訳協力：モンジュ・シュレスタ / 文責：渥美 資子)

NBSA カトマンドゥ事務所からのお知らせ

(現地コーディネーター 渥美資子)

4月1日に NBSA カトマンドゥ事務所も移転しました。使い慣れたパニポカリの事務所を離れるのは、カトマンドゥの役員やユーザー同断腸の思いでしたが、諸物価高騰に伴い家賃もアップ。遺憾ながらの決断でした。

日本からもたくさんの方々々が旧事務所を訪問してもらい、後ろ髪を引っ張られる思いですが、いたし方ありません。心機一転、これからも元気で頑張っていきます。転居先は、以前の事務所とさほど遠くないところ。ぜひ一度新事務所にお越しください。

新事務所：カトマンドゥ市 パルワタル

電話番号：4436-103 (日本からかけるとき：977-1-4436-103)

郵便物は私書箱宛に、以前と変わりません。P.O.Box:8974 PCN-111



2010年度スタディーツアーのお知らせ!

「日本経済の景気の低迷で、ここ数年海外旅行を断念していたけどもう我慢できない」「いつも NBSA 会報を頂きますが、ぜひ一度ネパールに行ってみよう」とおっしゃる方が現れました。ぜひ今年の秋にスタディーツアーを行いたいと思います。現在3名の方しか候補者がいらっしゃいませんが、お友達を誘ってぜひ当地に遊びに来てください。カトマンドゥの NBSA の活動現場のみならず、ヒマラヤのアンナプルナがきれいに見えるポカラ近郊のミニトレッキングもコースに入れます。期間は11月中旬、華やかなティハール(光の祭)の頃から10日間を予定しています。

興味のある方はぜひご一報ください。NBSA@mail.com.np

又は、日本の事務局(川崎)にお問い合わせください。

事務局からのお知らせとお願い

(日本事務局担当 高梨憲司)

梅雨明け後の猛暑が続いています。また、7月初めからの集中豪雨では西日本を中心に甚大な被害が出ています。会員の皆様はご無事でしょうか。被害に遭われた方には心からお見舞い申し上げます。さて、前述した通り、去る6月に2010年度の総会を無事終了し、本格的に新年度がスタートしました。そこで、厳しい経済状況の折り誠に恐縮ですが、今年度の会費の納入をお願いしたいと存じます。振込取扱票を同封させていただきましたので、お手数ですが、未納の方は郵貯銀行の窓口にてお振込み願います。既に納入済みの方には申し訳ございませんが、今回は年度当初のため会員全員に振込取扱票を同封させていただいております。ご了承ください。なお、事務の効率化と経費節減のため、昨年度の後半より金融機関の窓口にて会費を振り込まれた方には領収書の発行を省略させていただいております。各自で振込み票の控えを保存いただければ幸いです。領収書の必要な方はどうぞ遠慮なく事務局までご請求ください。暑さ厳しき折、会員の皆様にはくれぐれも健康に留意されて、ご活躍くださいますよう祈念しております。

Nepal Blind Support Association (NBSA)

P.O.Box:8974 PCN-111 Katmandu Nepal Tel:977-1-4436-103

E-mail: NBSA@mail.com.np または yorikonepal@hotmail.com

日本の事務局:

〒284-0005 千葉県四街道市四街道1-9-3 視覚障がい者総合支援センターちば内 NBSA

電話:043-424-2501 Fax:043-424-2486 事務局担当者 高梨 憲司

NBSA HP:<http://NBSA.sakura.ne.jp/>

維持会費:個人会員年間6,000円/協力会員年間3,000円/法人会員年間15,000円

振込先:口座記号番号00190-7-762775(ネパールの視覚障害者を支える会)

2009年度決算報告書(案)

資料 2

略

2010年度予算書(案)

資料 4

略